

渋滞対策にかかるこれまでの取り組み

1 検討会の開催状況

平成29年度

第1回検討会 6月14日

- ・検討項目について、4つの区分ごとの具体的検討項目（たたき台）を提示

第2回検討会 8月31日

- ・4つの区分毎に整理した今後の取り組みの方向性（案）を提示

第3回検討会 12月25日

- ・区分毎の今後の取り組みについて、具体案を説明

第4回検討会 3月28日

- ・福島県原子力防災避難経路障害要因調査について、概要とスケジュールを説明

2 福島県原子力防災避難経路障害要因調査の概要

- ・住民アンケートの実施（得られた住民の避難行動の傾向をシミュレーションに反映）
- ・シミュレーションに必要なデータの収集（地区毎の住民人口、始点と終点の整理）
- ・シミュレーションの実施
 - 想定シナリオ（避難タイミング、避難指示の範囲等により複数想定）
 - 避難時間推計の実施
- ・渋滞発生箇所の特定
- ・渋滞発生箇所毎の回避方法の検討
- ・避難ルートマップ（シミュレーションの結果等を避難時に有用な情報とともに地図上に示したもの）の製作
- ・ホームページ「原子力災害に備える情報サイト」の改修 等

3 これまでの成果について

平成30年	1月	「原子力災害に備える情報サイト」創設
	4月	「福島県原子力防災避難経路障害要因調査業務」契約
	6月	「原子力災害に備える情報サイト」全面リニューアル
	7月	「原子力災害に備える情報サイト」スマートフォン専用サイト創設
	8月～	原子力災害時に避難についてのアンケート調査実施
	9月	リーフレット「原子力災害にそなえて」配布

参 考

区分毎の検討項目（平成29年度第2回検討会より）

1 避難方策の具体化

- ・避難ルートの再点検（道路幅員の確認、問題点の洗い出し）
- ・追加できる避難道路の具体化（広域農道や市町村道等で改良済みの路線等）
- ・渋滞シミュレーションの実施

2 住民啓発・情報発信

- ・段階的避難の合理性、有効性について、リーフレットを作成する等の啓発に努める。
- ・県民に原子力発電所の状況を分かりやすく伝えていく。

3 情報提供の方策

- ・県で原子力災害時の避難に必要な情報を入手できる方法を整理して県民に周知する。

4 車両分散の方策

- ・引き続き、関係機関と調整しながら効果的な対策を検討していく。

原子力災害に備える情報サイト

The screenshot shows the homepage of the Fukushima Prefecture's 'Information Site for Preparing for Nuclear Disaster'. The page features a navigation menu with icons for Home, Pre-disaster preparation, and Emergency information. A sidebar on the left lists various topics such as evacuation routes, sheltering methods, and emergency procedures. The main content area is titled 'Indoor Sheltering Instructions Issued' and includes a detailed illustration of a family in a kitchen with callouts providing specific instructions like 'Close windows and doors', 'Avoid using mobile phones', and 'Stay away from the exterior walls'. Below the illustration, there is a caption and a short paragraph explaining the site's purpose.

福島県
原子力災害に備える情報サイト

最新ニュース 動画 拡大
県民情報 白 青 黒

ホーム 事前に準備しておくべき準備 緊急時に確認する情報

写文字 ホーム > 準備に備えておくべき準備 > 屋内避難の指示が出されたら

- 広域避難計画の対象となる区域
- 福島県原子力災害広域避難計画
- 隣接市町村ごとの避難先市町村
- 避難の広域ルート
- 避難の入手法
- 初期対応段階で行う防護措置
- 屋内避難の指示が出されたら
- 避難等の指示が出されたら
- 避難が必要になったら
- 避難区域時検査（スクリーニング）について
- 段階的避難の実施
- 段階的避難の有効性
- 避難に備えて準備しておくものリスト
- 緊急時の業務の展開について
- リンク集

屋内避難の指示が出されたら

屋内避難とは、住民等が自宅等の建物内にとまることです。
屋内避難をすることによって、放射性物質の体内への取り込みを抑えること及び外部被ばくを小さくすることができます。
屋内避難となった場合、福は、屋内避難中の住民に対し、テレビ・ラジオ及びインターネット等により屋内避難の留意事項及び必要な情報を提供し、隣接市町村は、防災行政無線及び広報車を使って災害情報を伝播して住民の安全確保に努めることとしています。

- 外出が人よりよりにドアや窓を全て閉め、エアコン・換気扇等を止めましょう。
- 屋外にいる人は着せやぶくの服装の申し入りましょう。
- 無用な被ばくを減らすため、道や市町村からの指示があるまでは外出は控えましょう。
- 食卓にはフタを閉めましょう。また飲料水も確保するためペットボトルの水も入れ準備しておきましょう。
- 屋外からの放射線による外部被ばくを減らすため、できるだけ窓から建物、窓枠の中心に避難しましょう。
- 放射線増幅の要因となる窓枠から離れた場所、避難した部屋はビニールシートで密封し、空気を入れ替えてください。
- テレビ・ラジオ・放送可編成・インターネット等による防災情報から必要な情報を収集しましょう。
- 屋外からの放射線による外部被ばくを減らすため、できるだけ窓から建物、窓枠の中心に避難しましょう。
- 放射線増幅の要因となる窓枠から離れた場所、避難した部屋はビニールシートで密封し、空気を入れ替えてください。

■ 屋内避難に備える広域チラシ（内閣府HPへリンク）

屋内避難が安全への第一歩であり、「すぐに逃げる必要がないこと」をマンガで分かりやすく解説しています。